

暮らしの魅力を伝える！ 理想の部屋の一場面を描こう！

今回は、あなたの思い描く「理想の部屋」の魅力を伝えるイラストを完成させます。

アカデミックコースでは、理想の部屋のテーマや世界観をリアルに描くための、構図やパースのテクニックまで学んでいきます。

この課題は 2026 年の作品展に出すことができます。
自分の好きなものや空想をたくさん詰め込んだ部屋をぜひみんなに見てもらいましょう。

【今月の課題】

- STEP1 部屋のテーマ・世界観を考えよう！
- STEP2 間取り図をつくろう！
- STEP3 構図を考えよう！
- STEP4 理想の部屋を完成させよう！



STEP1 部屋のテーマ・世界観を考えよう！

まずは、暮らしたい地域を考えてみましょう。その場所に暮らすためには、家が必要です。家の中には、用途に合わせた「部屋」が存在します。STEP1 では、暮らしたい地域からテーマを考え、部屋を描くために必要な材料を集めていきましょう。

時代・時間軸

未来

西暦 2782 年 7 月 30 日

登場人物

わたし（女子高生）

世界観・設定

地球の気候が荒れて住めなくなってしまったため、宇宙船へと引っ越してきた。14,000 人が収容されている大型の宇宙船で、備え付けの無機質な部屋に住んでいる。部屋は個室。少しの衣類と勉強道具、大事なペンギンのぬいぐるみは地球から持ち込むことができた。たくさん勉強して、地球を元の環境に戻したいと思っている。

地域・環境

地域：宇宙

部屋のある場所：宇宙船の中
空調は船内で管理されていて、
年中快適に過ごせる。

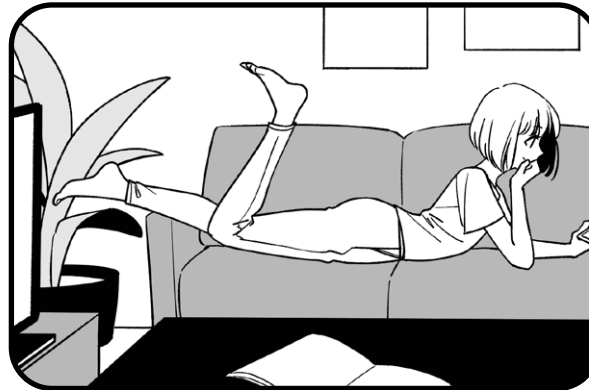
世界観づくりのヒント①：時間軸

過去、現在、未来、またはそれ以外…？

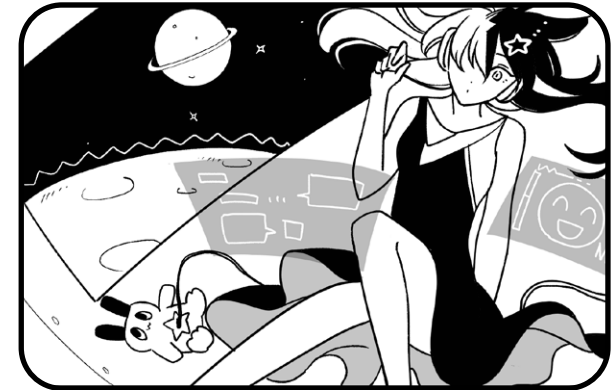
自分が暮らしてみたい！描いてみたい！と思う時間軸を考えてみましょう。



過去



現在



未来



実在する要素が多い



空想の要素が多い

現実に近い世界なのか、空想にもとづいた世界なのか、描きたいジャンルもいっしょに考えてみましょう！

世界観づくりのヒント②：地域・環境

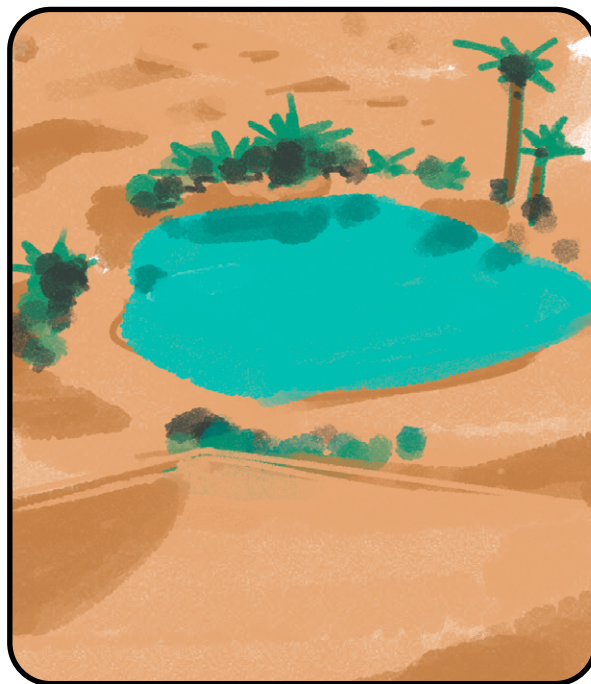
あなたが住んでみたい国や地域はどのような文化でしょうか？

また、どのような気候（気温や雨量などの気象のようす）や、環境でしょうか？

家や室内の形、道具は、その地域や外の環境による影響を大きくうけます。

暮らしを想像しながら家具や道具、衣装をかんがえていきましょう。

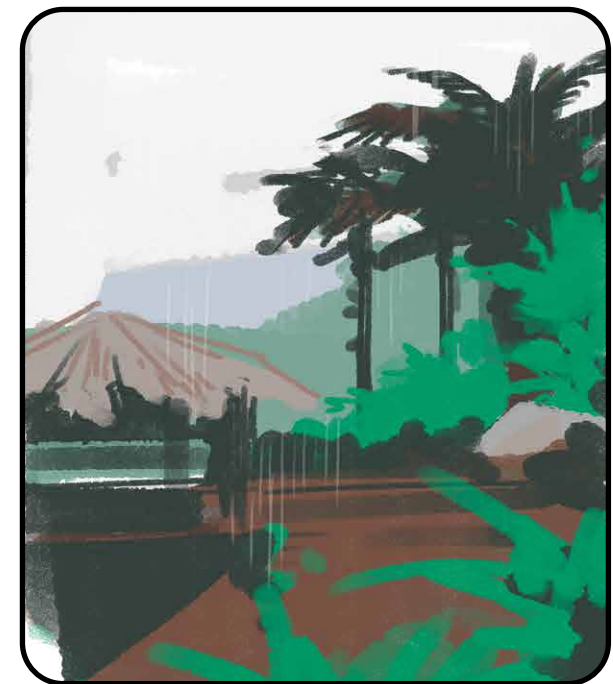
下のイラストのような地域は、どんな部屋になっている？



暑い・雨が少ない・乾燥している



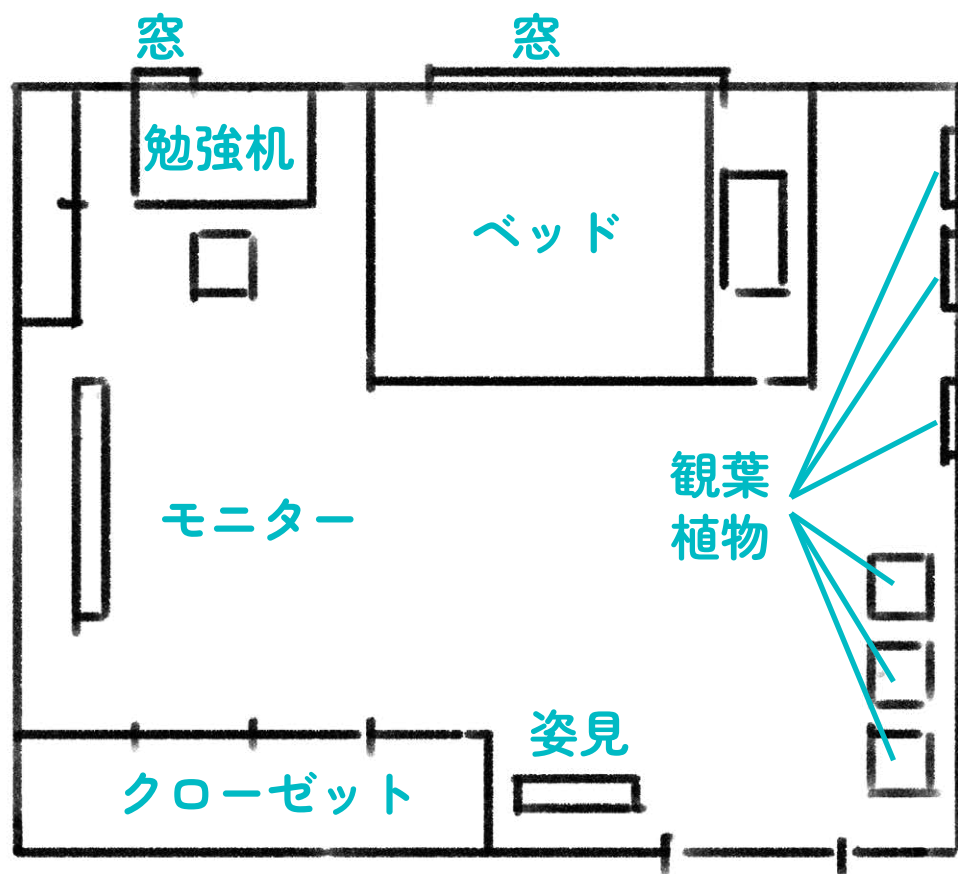
寒い・雪が降る・乾燥している



暑い・雨が多い・湿度が高い

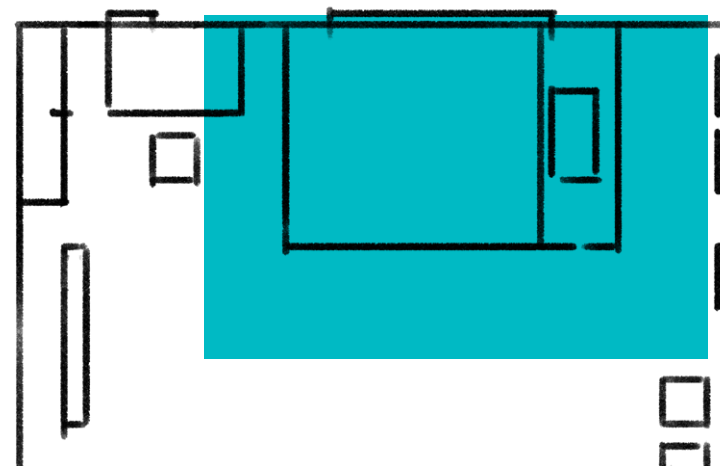
STEP2 間取り図をつくろう！

間取り図とは、部屋の図面のことです。部屋のイメージがわからない場合、部屋の形や窓や扉の位置、家具の配置などを図面にして描いてみましょう。



専門的なものでなくてかまいませんし、丁寧な線を引く必要ありません。あくまでもメモとして「必要と感じた場合」に描き起こしてみてください。

間取り図ができたなら、部屋のどこをどのような角度で描くかを考えてみてください。



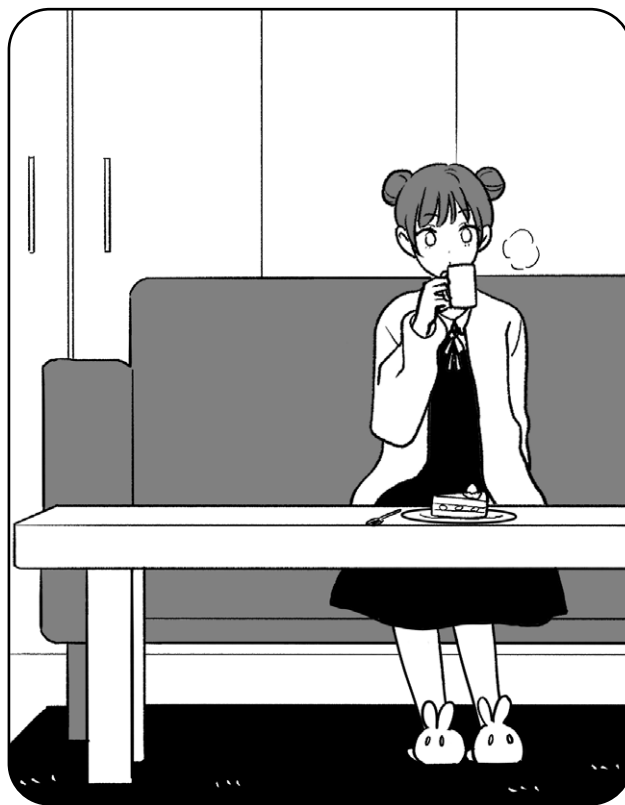
STEP3 構図を考えよう！

カメラアングル（角度）やカメラの距離を考えながら、構図を考えてみましょう。

カメラアングル



カメラが上から（フカン）



カメラがおよそ中央から



カメラが下から（アオリ）

カメラの距離

キャラクターや部屋の一部にスポットを当てたいときは、カメラを近づけるように。
部屋全体を描きたい場合はカメラを遠くから構えるようにしてみましょう。



カメラが遠い：世界観が伝わりやすい



カメラが近い：キャラの様子や場面が伝わりやすい

STEP4 理想の部屋を完成させよう！

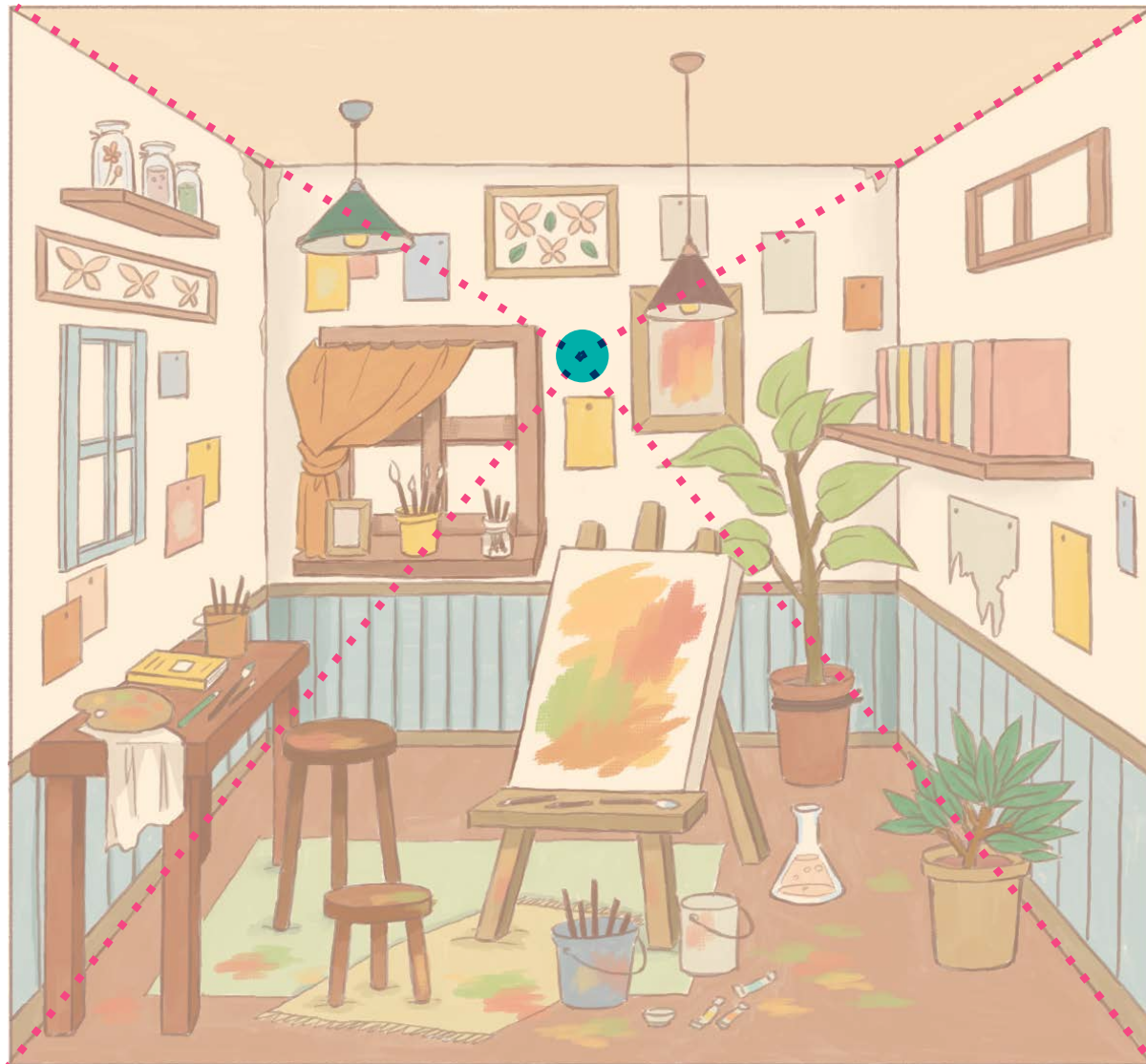


STEP3 で考えた構図をもとに、理想の部屋を完成させましょう。

この STEP では、作品のリアリティや完成度を高めるため、背景についてのヒントをいくつか解説します。

チャレンジ：透視図法を使ってみよう (1)

透視図法とは、**消失点**を使って立体を正確に描く技法のことです。



例えば左の絵では部屋の奥へ向かう線が、1つの点に向かって集まっています。他にも、机や窓、壁の棚など、いろいろな物体の線が消失点に向かっていきますね。絵に消失点を設定すると、その消失点に向かって線を引くことで絵に正確に物体を描くことができます。

物体の角度によって消失点は3つまで増え、消失点の数によって**一点透視図法**、**二点透視図法**、**三点透視図法**と透視図法の名前が変わります。

STEP3 で考えた構図を透視図法にあてはめて背景を描くと、臨場感（りんじょうかん）のあるイラストに仕上がりますよ。

チャレンジ：透視図法を使ってみよう（2）

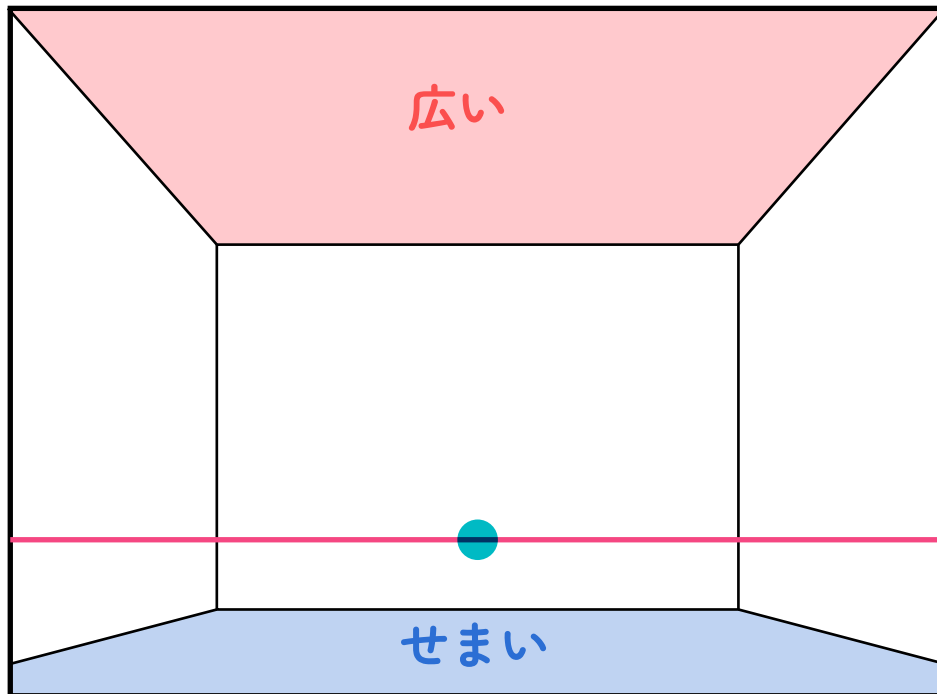
描きたい絵のアングルによって、消失点の位置を決めましょう。

例えば、**一点透視図法**で消失点が低い場所にあると、見上げる印象の構図（アオリ）になります。

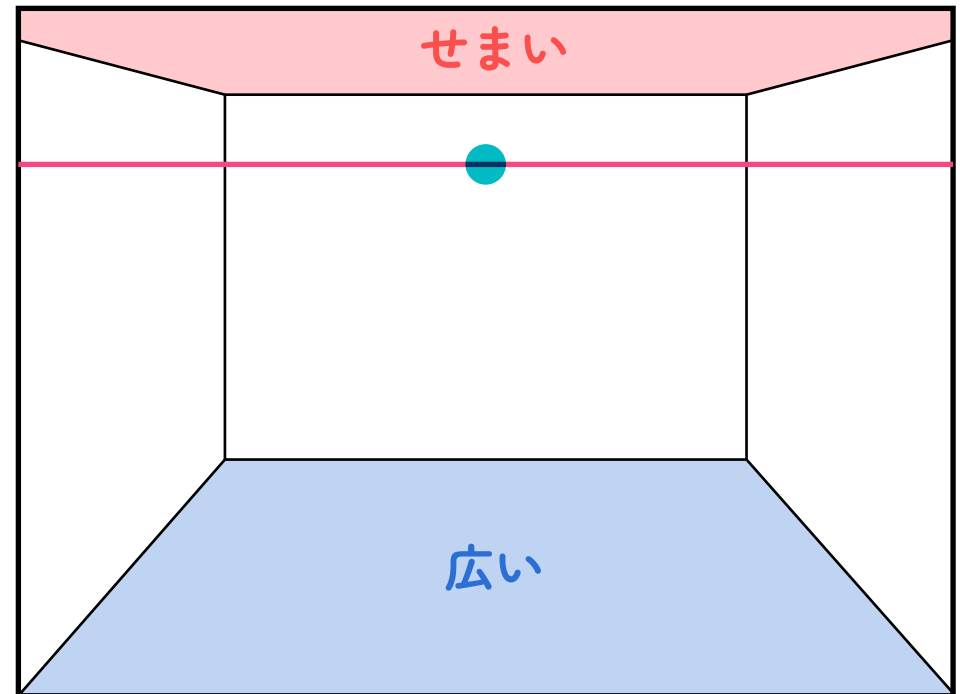
逆に、消失点が高い場所にあると、見下ろす印象の構図になります。

描きたい絵のアングルに合わせて、消失点の位置を設定してみましょう。

消失点が低い場所にある（アオリ）

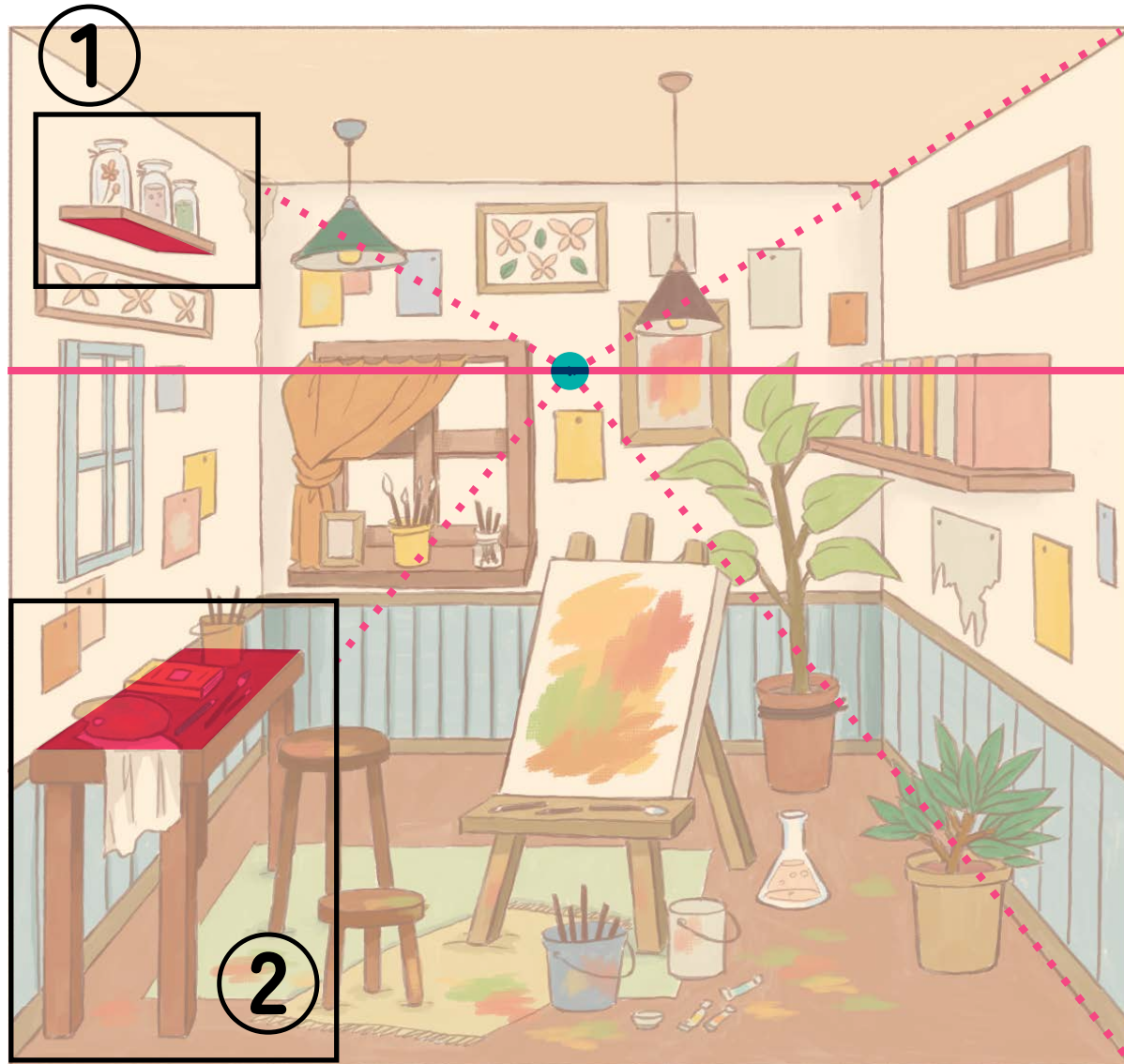


消失点が高い場所にある（フカン）



チャレンジ：透視図法を使ってみよう (3)

部屋の中にいるキャラクターや、家具や道具を描くとき、**目線の高さ**にも注目しましょう。



目線の高さのことをアイレベルといいます。
アイレベルより上にあるものは見上げ、
下にあるものは見下ろすかたちになります。

目線の高さ（アイレベル）

黒い枠の中の棚と机をそれぞれ見てみましょう。①の棚はアイレベルより上にあるため、底面が見えています。②の机はアイレベルより下にあるため、天面が見えています。このように、描きたいものが視線より上にあるか、下にあるかによって、モチーフの見える部分が違ってきます。

チャレンジ：透視図法の応用（魚眼パース1）

魚眼レンズは、非常に広い範囲を撮影できる特殊なレンズです。
魚眼レンズで撮影したようなイラストを描くためには少しコツが必要ですが、ダイナミックなイラストを描くことができるため、ぜひチャレンジしてみましょう。



左のイラストは、ゆるやかな魚眼パースで描かれています。

壁面や天井をしてみると、外側に向けて弧（こ）を描いているのわかりますか？

このように、水面下から水面を見たときに地上の風景が円形に見える、魚の視点のような表現のことを魚眼パースといいます。

身近なものでいうと、玄関の覗き見レンズは、魚眼レンズになっています。魚眼パースをすぐに観察できるので、魚眼パースにチャレンジしたいときはぜひ覗いてみてくださいね。

チャレンジ：透視図法の応用（魚眼パース 2）



魚眼パースは理屈が少し難しいので、消失点を軸にして外側に波が広がるように、丸く描くことだけを意識してみてください。

魚眼パースに物体をのせるのは難しいですが、普段あまり見かけない構図なのでパースに間違いがあっても分かりにくいのです。

そのため、パースラインはフリーハンドで描いてみてもよいでしょう。

また、魚眼パースでは多くの場合ダイナミックな構図を描くことが目的なので、そのためならパースが間違っても問題ありません。

気負わずに描いてみましょう！

STEP1 部屋のテーマを考えよう（設定メモ）

時代・時間軸

国・地域

気候・環境

登場人物

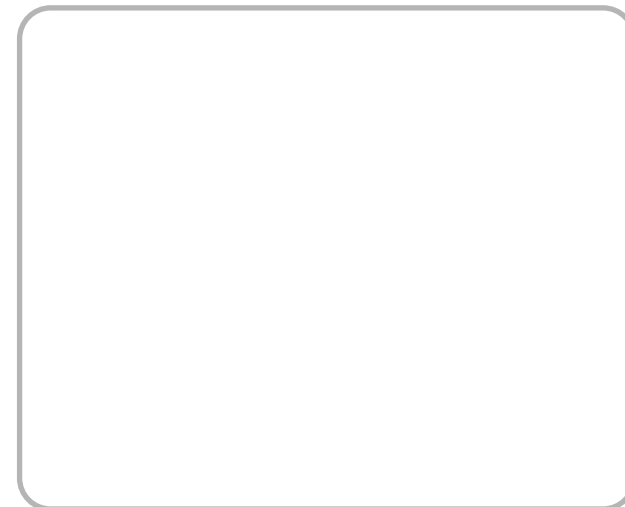
世界観・設定

部屋のテーマ・系統

STEP1 部屋のテーマを考えよう（キャラクターメモ）

キャラクターメモ

描きたい場面・様子



部屋にあるもの



STEP2 間取り図をつくろう！